

四 単元構想図（全6時間）

◆生徒の実態

- 筆者の主張に対しての感想はもつことができるが、それに対する自分の意見を深く考えようとする姿に弱さが見られる。
- 筆者の主張を適切に捉え、それに対する自分の意見を体験や経験とつなげて考えることに弱さが見られる。
- 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】
- 抽象的な概念を表す言葉や、難解な語句を適切に理解し、分かりやすく説明したり、活用したりすることに弱さがある。

《学習活動の流れ》

見通しをもつ	目的をもって読み取る	付きたい言語能力を活用する
<p>第一次 学習の流れとねらいを明確にする（1時間）</p> <p>①「最後の晚餐」を「かっこいい」と評した筆者のものの見方、考え方とその作品について知り、思ったことや初めて知ったことなどを交流し、学習の見通しをもつことができる。【関心】</p> <p>・言語活動と単元の目標について知り、学習計画をつくる。</p> <p>・学習計画に沿って、自分が付きたい力を考え、個人目標を設定する。</p> <p>・筆者のものの見方、考え方について、初発の感想を書く。</p>	<p>第二次 筆者の主張を適切に読み取り、作品を解釈すると共に、筆者のものの見方、考え方を理解する。（3時間）</p> <p>②筆者が作品を「かっこいい」と評した意図について考えることで、「最後の晚餐」の魅力を誰に対しても分かりやすく伝えようとしていることを読み取ることができる。【読むウ】</p> <p>③「かっこいい」の内容について考えることで、筆者が「解剖学」「遠近法」「明暗法」といった「絵画の科学」という手法を例に挙げて、魅力を細かく分割して説明していることを読み取ることができる。【読むイ】</p> <p>④展開の意図や「絵画の科学」を用いた説明の仕方から、筆者が「物事を分析的に見る」というものの見方、考え方をしていることを読み取ることができる。【読むウ】</p>	<p>第三次 自分の考えを形成する（2時間）</p> <p>⑤筆者「物事を分析的に見る」というものの見方、考え方について、自分の知識や体験と関連させて、考えをもつことができる。【読むエ】</p> <p>⑥筆者のものの見方、考え方やそれに対する自分の考えをもとにして、「最後の晚餐」の魅力について語ることができる。【読むエ】</p>

教材名：「君は最後の晚餐を知っているか」

君は「最後の晚餐」を知っているか～布施さんに挑戦～

《自立した学びを生み出すための工夫》

【言語活動とその特徴】
本単元では筆者の「物事を分析的に見る」という見方に対する自分の考えを形成する言語活動を設定した。筆者の見方、考え方に対する考えを形成するためには、筆者の主張を適切に理解し、自分なりに解釈する必要がある。また、筆者がその考えをもつに至った経緯や職業など、様々な視点から自分の知識、体験と照らし合わせて、共通点や相違点を考えることによつて、明確な根拠をもった考えを形成することができる。自分の考えを形成する言語活動として、最適であると考える。

【単元における三つの見届け】

- ①実態の見届け
第一次において、筆者のものの見方、考え方についての感想を書かせることで、「考えの形成」の難しさを実感させ、その上で立てた個人目標の内容を見ること、付きたい力をどれだけ把握しているかを実態として見届ける。
- ②学習状況の見届け
第二次において、これまでの読み取りの様子から学習状況を見届け、必要に応じて考え方を可視化するシートを渡すなど、学習状況に合わせて、個に応じた指導を行う。
- ③定着状況の見届け
第三次において、筆者のものの見方、考え方について自分がどのように考えたかを、全体交流の後で再構築させる。さらに個人目標を視点とした振り返りを行うことによつて、自分の考えの広がりや深まりを実感させ、定着状況を見届ける。

【評価規準】

- 【関心・意欲・態度】
筆者のものの見方、考え方に対する自分の考えをつくらうとしている。
- 【読むこと】
筆者の主張を適切に読み取り、それに対する自分の考えを、体験や経験とつなげて形成しようとしている。【読むエ】
- 【言語についての知識・理解・技能】
難解な語句を分かりやすく説明するために、表現を工夫しようとしている。

◆単元目標 ◎は重点項目

【関心・意欲・態度】

○筆者の主張を適切に読み取り、それに対して自分はどう思うかを考えようとすることができる。

【読むこと】

○筆者の主張を適切に読み取り、それに対する自分の考えを、体験や経験とつなげて形成することができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

○抽象的な概念を表す語句や、専門的な語句を分かりやすく説明するために、表現を工夫することができる。